

## 第2回次期総合振興計画（区の将来像）に係る見沼区検討懇話会

### 次 第

日 時 平成31年1月22日（火）

午前10時から

場 所 見沼区役所 2階大会議室

#### 1 開会

#### 2 意見交換

(1) 見沼区の将来像改定素案たたき台について

#### 3 閉会

##### 【当日配付資料】

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 席次表

##### 【事前配布資料】

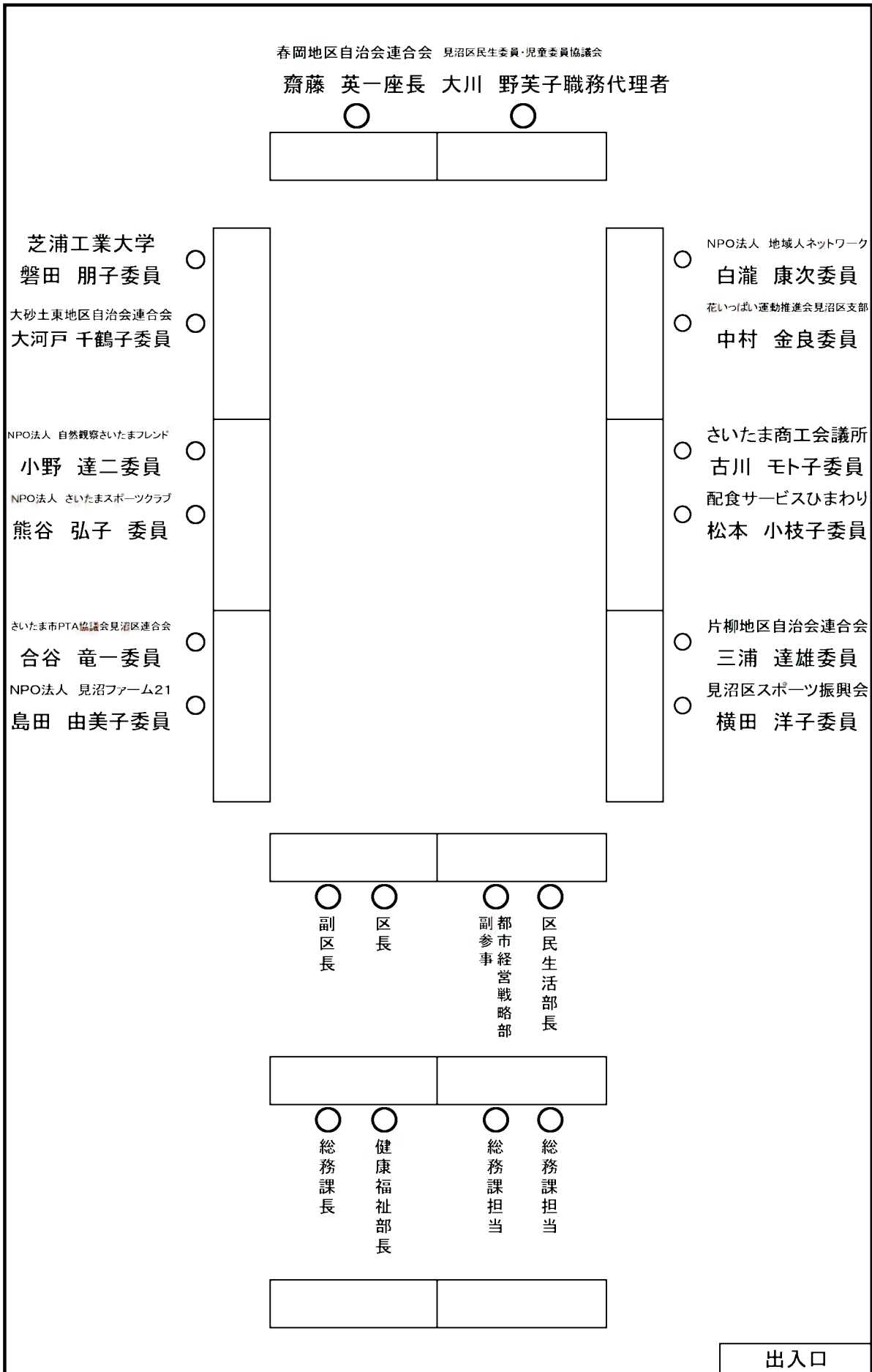
- ・ 資料1 第1回見沼区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見
- ・ 資料2 見沼区の将来像改定素案たたき台

次期総合振興計画（区の将来像）に係る見沼区検討懇話会委員名簿

【50音順】

No.	団体名	氏名
1	芝浦工業大学	磐田 朋子
2	見沼区民生委員・児童委員協議会	大川 野美子
3	大砂土東地区自治会連合会	大河戸 千鶴子
4	NPO法人 自然観察さいたまフレンド	小野 達二
5	NPO法人 さいたまスポーツクラブ	熊谷 弘子
6	さいたま市PTA協議会見沼区連合会	合谷 竜一
7	春岡地区自治会連合会	齋藤 英一
8	NPO法人 見沼ファーム21	島田 由美子
9	NPO法人 地域人ネットワーク	白瀧 康次
10	花いっぱい運動推進会見沼区支部	中村 金良
11	さいたま商工会議所	古川 モト子
12	配食サービスひまわり	松本 小枝子
13	片柳地区自治会連合会	三浦 達雄
14	見沼区スポーツ振興会	横田 洋子
15	七里地区自治会連合会	吉田 正信

# 次期総合振興計画(区の将来像)に係る見沼区検討懇話会 席次



## 第 1 回見沼区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見

- ※黒字は区検討懇話会、赤字は市民ワークショップからの主な意見。  
 ※「まちづくりのポイント」、「将来像」、「その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）」の視点で分類した。  
 ※網掛けは、「区の将来像たたき台（案）」（資料 2）作成の際、特に留意した意見。  
 ※「まちづくりのポイント」に関する主な意見は、現行の後期基本計画の該当する「ポイントの説明書き」で分類した。（資料 2 の「（）」の番号を参照）  
 また、意見が複数の説明書きに該当する場合は、【 】で該当する説明書きの番号を記載。  
 [例] 【1 - 1・4】は、「まちづくりのポイント 1」の「説明書き (1) と (4)」にそれぞれ該当。

## 【 I 】見沼区における「課題」、「将来への期待」、「まちづくりのポイント」に関するご意見

## 1 見沼の自然を生かしたまち

- 1 まちづくりのポイント 1 のタイトルについて、自然を身近に感じられるまちづくり、という表現が良いのでは。
- 2 市民が身近に見沼の自然を感じ、PR ができるようになれば自然と共生できるまちづくりにつながるのでは。
- 3 掲載されている写真が代表的なものでないようなので、変えたほうが良いのでは。

## (1) 見沼の多様な自然の保全・活用とネットワーク化の推進

- 1 見沼区の緑を守る必要があり、そのために制度に基づく規制を検討していく必要があるのでは。
- 2 駅と見沼田んぼのアクセスなど、人が流れる街づくりの仕組みがあれば良いと考えている。
- 3 緑を守れという人は多いが、緑を守る人は少ない。ボランティアは有償ボランティアにすべきではないか。
- 4 見沼田んぼ等、自然が身近にある 【1-1、2-2】
- 5 自然や公共民間施設が生かされていない
- 6 見沼の自然を生かし、人々が集まれるところが思い浮かばない。
- 7 見沼田んぼを活用したイベントを活発にし、住民同士の交流の機会を増やす。

## (2) 見沼の自然を生かし、人々が集まり、活動し、交流することのできる、豊かな水と花や緑あふれるオアシスの創造

- 1 見沼区は自然のあるところ、住宅地があるところが分離されており、それらをつなげる憩える場所があれば良い。

2 市民が見沼田んぼに入っていけるような、自然を生かしていく仕組みがあれば、市民と見沼田んぼがつながるのでは。

3 散歩していても休憩する場所がなく、あればもっと PR できるだろう。

4 自然を売りにするのであれば、人が気軽に集える環境を整え、イベントや野菜等の農作物をアピールする取組を行い、発信する必要がある。【1-2、1-3】

(3) 区民と行政が協働して取り組む、環境や景観に配慮した住宅地の整備、斜面林等の緑地の保全、農業体験や地産地消等を踏まえた農地の保全など自然と調和した土地利用

1 住み始めたころに比べ、住民と行政が清掃活動に取り組むようになり、まちがきれいになってきている。

2 農業を育てる、といった文言が入っても良いのではないか。

3 農地の保全に加え、農地の振興があっても良い。

4 農業の振興、活性化という方向であると良い。

5 地産地消という表現があっても良いのでは。

6 住宅が増え、若い世代の人口が増加している

7 農地が近いため、さいたま市産の野菜が身近に入手できる

8 自然を売りにするのであれば、人が気軽に集える環境を整え、イベントや野菜等の農作物をアピールする取組を行い、発信する必要がある。【1-2、1-3】

(4) 自然エネルギーの活用促進など、環境負荷の少ないまちづくり

## 2人にやさしく、ふれあいのあるまち

(1) 子どもがのびのびと育ち、高齢者が生き生きと暮らせる、あらゆる人にやさしい、思いやりのある地域づくり

1 まちづくりのポイント 2 について、若者、という言葉が入っても良いのでは。

2 まちづくりのポイント 2 について、最初の文章に、障害者、という言葉が入っても良いのでは。

3 外国籍の方も入ってよいのでは。

4 高齢者が生き生きと、ということは重要だが、高齢者が活躍する場を用意するという趣旨であってほしい。

(2) 見沼の自然や歴史など、地域固有の資源を生かした誇りと愛着の持てるコミュニティの創出と文化の振興

1 見沼区は広く、同じ区民同士が考えあえる場があればよいのでは。

2 文化、は意味合いが広く、くらしというほうが合っている気がする。

3 見沼田んぼ等、自然が身近にある 【1-1、2-2】

(3) 様々な分野の組織や世代を超えた人々が交流できる場や機会の充実と、情報共有の促進

1 区役所が行っている活動が PR 不足→見える化

(4) 既存施設などの充実や有効活用による、様々な地域活動の活性化に向けた環境づくり

1 公共施設が充実している

2 地域住民が交流できる場所を増やす

3 動きやすく、生活しやすいまち

1 ポイント3について、タイトルの「動きやすい」は「動きたくなる」の方が良いのでは。

(1) 子どもから高齢者までが移動しやすい、電車・バス・自転車による交通網の充実と、駅や区役所など主要施設へのアクセス性の向上

1 自転車が安心して通れる道があれば、区全体のネットワークが出来、交流が深まるのでは。

2 バスルートの改善や自転車ステーションの取組みは良いと感じている。

3 高齢化率を考えると交通網を整備すべきである。

4 自転車専用道路を整備するのはよいが、車道を整備した後に、道幅を考えて整備してほしい。

5 障害者や高齢者にとって、体育館や駐車場などの段差の問題やスロープが無かったりなどする。(バリアフリー化)

公共施設の利用環境を改善したい。

6 区画整理が遅れていて東大宮周辺の道路がいりくんでいる。

(2) スポーツ施設間の連携促進と気軽に運動しやすい環境づくり

1 スポーツ施設を使った高齢者の健康維持の取組み

(3) 駅周辺の活性化や下水道の充実など、暮らしやすい生活基盤づくり

4 地域ぐるみで進める安全・安心なまち

1 まちづくりのポイント4について、活用度の様子を PR するために写真があったほうが良いのでは。

(1) 地域と行政の連携による防災・防犯・交通安全対策の推進

1 防災の観点からは、通学路に空き家や倒壊の危険性があるブロック塀などがあり、対応をして欲しい。

2 まちづくりのポイント4について、木造住宅が多く延焼の危険性がある。

また救急車・救急車が入れない可能性もあり、区画整理をやったほうが良いのでは。

3 ポイント4について、地域には企業があり、それら企業と協働できるまちづくりの仕組み作りがあってもよいのでは。

#### 4 地域災害ネットワークづくり

### (2) 歩行者や自転車が安全に、安心して利用できる道路環境の整備

1 道幅が狭く子供の通学に影響しているのでは。また交通マナーが悪く、改善されればよいと考えている。

2 通学路における子供の安全や、子供と高齢者の居場所づくりに取り組む必要がある。

## 【Ⅱ】「見沼区の将来像」の見直しに関するご意見

1 住みよいまちづくりに向け、行政や住民だけでなく、事業者も協力していく必要がある。

2 まちづくりのポイントとして4つ挙げられているが、これらはリンクしており、リンクを感じさせる表現があってもよいのでは。

3 見沼、といっても広く、それを表すような表現があれば良いのでは。

4 文化では広く、共生という雰囲気を出す方がよい。これからも住んでいくという点から、くらし、という言葉が合っている気がする。

5 農業を育てる、といった文言が入っても良いのではないか。

## 【Ⅲ】その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）

1 近隣区との連携など回遊性がよいまちづくりができればよいと考えている。

2 意見を出したときに、内容ごとに担当課が異なる。

会議で出した意見が共有されておらず、見沼区民が出した意見が共有される仕組みがあればよい。

3 財政が厳しい中で、重要な内容に予算が使われているのかと感じている。

4 一定の面積を持つ土地所有者は花壇を整備する制度があっても良いのでは。

5 見沼というと見沼たんぼというのが、自然との共生を考えた場合、綾瀬川沿いまでも含めて解釈すべきではないか。

6 生徒数に偏りがあり、生徒数は大谷小学校約 1,200 人、大砂土東小学校約 1,200 人、

春岡小学校で1,000人を超えている。

一方七里小学校約380人、東宮下小学校約180人、片柳中学校では300人前後である。

7地域と魅力を高めるには、行政界にこだわらず近隣区と連携して取り組むという点も入って良いのでは。

8区を通る幹線道路をまちづくりの地域資源として記載できないか。



## 「見沼区の将来像改定素案たたき台」（後期基本計画→次期総合振興計画） ※変更箇所は赤字

	後期基本計画	次期総合振興計画
将来像	<p><b>見沼の自然との共生</b> —私たちが まもり育てる 見沼の文化—</p> <p>区民と行政の協働により、見沼の豊かな自然と心のふれあいをまもり、動きやすく、生活しやすい、安全で安心なまちづくりを推進します。</p>	<p><b>見沼の自然との共生</b> —私たちが まもり育てる 見沼の文化—</p> <p>区民、<b>事業者、行政</b>の協働により、見沼の豊かな自然をまもり育てるとともに、ふれあいのある生活しやすい、安全で安心なまちづくりを推進します。</p>
まちづくりのポイント	<p><b>1 見沼の自然を生かしたまち</b></p> <p>(1)見沼の多様な自然の保全・活用とネットワーク化の推進</p> <p>(2)見沼の自然を生かし、人々が集まり、活動し、交流することのできる、豊かな水と花や緑あふれるオアシスの創造</p> <p>(3)区民と行政が協働して取り組む、環境や景観に配慮した住宅地の整備、斜面林等の緑地の保全、農業体験や地産地消等を踏まえた農地の保全など自然と調和した土地利用</p> <p>(4)自然エネルギーの活用促進など、環境負荷の少ないまちづくり</p> <p><b>2 人にやさしく、ふれあいのあるまち</b></p> <p>(1)子どもがのびのびと育ち、高齢者が生き生きと暮らせる、あらゆる人にやさしい、思いやりのある地域づくり</p> <p>(2)見沼の自然や歴史など、地域固有の資源を生かした誇りと愛着の持てるコミュニティの創出と文化の振興</p> <p>(3)様々な分野の組織や世代を超えた人々が交流できる場や機会の充実と、情報共有の促進</p> <p>(4)既存施設などの充実や有効活用による、様々な地域活動の活性化に向けた環境づくり</p> <p><b>3 動きやすく、生活しやすいまち</b></p> <p>(1)子どもから高齢者までが移動しやすい、電車・バス・自転車による交通網の充実と、駅や区役所など主要施設へのアクセス性の向上</p> <p>(2)スポーツ施設間の連携促進と気軽に運動しやすい環境づくり</p> <p>(3)駅周辺の活性化や下水道の充実など、暮らしやすい生活基盤づくり</p> <p><b>4 地域ぐるみで進める安全・安心なまち</b></p> <p>(1)地域と行政の連携による防災・防犯・交通安全対策の推進</p> <p>(2)歩行者や自転車が安全に、安心して利用できる道路環境の整備</p>	<p><b>1 見沼の自然を生かし、身近に感じられるまち</b></p> <p>(1)見沼の多様な自然の保全・活用とネットワーク化の推進</p> <p>(2)見沼の自然を生かし、人々が集まり、活動し、交流することのできる、豊かな水と花や緑あふれるオアシスの創造</p> <p>(3) 区民、<b>事業者、行政</b>が協働して取り組む、環境や景観に配慮した住宅地の整備、斜面林等の緑地の保全、農業体験や地産地消等を踏まえた<b>農業の振興</b>と農地の保全など自然と調和した土地利用</p> <p>(4)自然エネルギーの活用促進など、環境負荷の少ないまちづくり (写真の変更)</p> <p><b>2 人にやさしく、ふれあいのあるまち</b></p> <p>(1)子どもがのびのびと育ち、<b>若者、高齢者、障害者</b>が生き生きと<b>健康に暮らし活動できる</b>、あらゆる人にやさしい、思いやりのある地域づくり</p> <p>(2)見沼の自然や歴史など、地域固有の資源を生かした誇りと愛着の持てるコミュニティの創出と文化の振興</p> <p>(3)様々な分野の組織や世代を超えた人々が交流できる場や機会の充実と、情報共有の促進</p> <p>(4)既存施設などの充実や有効活用による、様々な地域活動の活性化に向けた環境づくり</p> <p><b>3 動きたくなる、生活しやすいまち</b></p> <p>(1)子どもから高齢者までが移動しやすい、電車・バス・自転車による交通網の充実と、駅や区役所など主要施設の<b>バリアフリー化</b>とアクセス性の向上</p> <p>(2)スポーツ施設間の連携促進と気軽に運動しやすい環境づくり</p> <p>(3)駅周辺の活性化や下水道の充実など、暮らしやすい生活基盤づくり</p> <p><b>4 地域ぐるみで進める安全・安心なまち</b></p> <p>(1)<b>区民、事業者、行政</b>の連携による防災・防犯・交通安全対策の推進</p> <p>(2)歩行者や自転車が安全に、安心して利用できる道路環境の整備 (写真の追加)</p>